

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[背景説明](#)

[TMS 電話帳ディレクトリ](#)

[グローバルディレクトリ](#)

[Corporate Directory](#)

[システム 電話帳型](#)

[TMS 電話帳のために使用されるポート](#)

[エンドポイント 電話帳 サーバコンフィギュレーション](#)

[Webインターフェイスとアドレスを確認して下さい](#)

[セキュアシェル \(SSH\) とアドレスを確認して下さい](#)

[エンドポイント DNS 設定をチェックして下さい](#)

[SSH と DNS 設定をチェックして下さい](#)

[Webインターフェイスと DNS 設定をチェックして下さい](#)

[電話帳サービスが到達可能だったかどうか確認して下さい](#)

[TMS 電話帳および電話帳 ソース](#)

[連絡先および電話帳がシステムで設定 されることを確認して下さい](#)

[連絡先を確認して下さい](#)

[Jabber および電話帳](#)

[アクセス制御](#)

[提供設定](#)

[重複した2つのエントリ](#)

[電話帳 ルーティング](#)

[401 不正- IIS を解決して下さい](#)

[正常な電話帳クエリ](#)

[IIS 設定をチェックして下さい](#)

[ネットワーク キャプチャを使用して下さい](#)

[Wireshark の電話帳データを分析して下さい](#)

概要

この資料に Cisco TelePresence Management Suite (TMS) 電話帳で異なる問題を解決する方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco TMS
- Cisco TelePresence エンドポイント
- Microsoft Internet Information Services (IIS)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco TMS バージョン 14.x
- Cisco TelePresence C40

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

関連製品

このドキュメントは、次のバージョンのハードウェアとソフトウェアにも使用できます。

- Cisco TelePresence エンドポイント MX シリーズ、C シリーズ、SX シリーズ、EX シリーズ および MXP s
- TelePresence のための Cisco Jabber ビデオ

背景説明

TMS 電話帳はどのプロトコルがに基づいて Microsoft Windows サーバの IIS で HTTP または HTTPS の使用 有効に なるかとアクセス可能です。システムは TMS に電話帳（社内 ディレクトリ）を得るために追加する必要があります。より新しいシステムに関しては、電話帳検索はライブ通信であり、データはシステムで保存されません。TMS はアップであり、電話帳がはたらくことができるように接続を許可する必要があります。

TMS 電話帳ディレクトリ

グローバルディレクトリ

グローバルディレクトリはエントリが遠隔制御装置で変更することができないコーデックで保存されるファイルです。ファイルは Cisco TMS の 1 つ以上の電話帳を定期講読するすべてのエンドポイントに HTTP/HTTPSs によって送信されます。複数の電話帳は 1 冊の電話帳にマージされます。それらは 400 以上のエントリが含まれている場合、最初の 400 だけがエンドポイントで示されています。

ファイルは管理ツール > 設定 > 全般設定 > 電話帳 アップデート 周波数フィールドで設定される

間隔のエンドポイントに送信されます。

これは globdir.prm (MXP、Tandberg クラシック) をサポートするエンドポイントでだけ動作します。

Corporate Directory

社内 ディレクトリはエンドポイントが毎回エンドポイントの電話帳 ボタンが押されるサーバから電話帳を直接取得するようにする Cisco TMS サーバの XML サービスです。それは各エントリの電話帳および複数の電話番号の階層を可能にします。社内 ディレクトリはまた捜せます。

システム 電話帳型

管理ツール > 設定 > 全般設定へのナビゲート システム 電話帳型を選択するため。できます:

- 中央集中型 TMS 電話帳だけを使用して下さい (団体電話帳)
- 使用して下さい中心にされ、ダウンロードされた電話帳 (両方とも)
- システムだけにダウンロードされるグローバル な 電話帳を使用して下さい (グローバル な 電話帳)

Cisco はダウンロードされた電話帳がレガシー TANDBERG エンドポイントによってだけサポートされるので団体電話帳または両方とも選択することを推奨します。

社内 ディレクトリ ライブ検索失敗がもしグローバルディレクトリを使用できるようにするデフォルト設定は両方です。

TMS 電話帳のために使用されるポート

エンドポイントはポート 80 (HTTP) またはポート 443 (HTTPS) との TMS 電話帳サービスにアクセスします。これらのポートがパスにあるかもしれないネットワークファイアウォールおよび Microsoft Windows サーバ ファイアウォールで許可されることを確認して下さい。

Service or System	Protocol	Port	Direction (relative to Cisco TMS)	
			In	Out
HTTP	TCP	80	X	X
HTTPS	TCP	443	X	X

エンドポイント 電話帳 サーバコンフィギュレーション

システムが TMS に追加されれば、フィードバック アドレス、外部管理アドレスおよび電話帳アドレスが含まれている一組の管理設定を受け取る必要があります。システムのアドレスはシステムの Web インターフェイスから、xAPI (xConfiguration //phonebook)、またはシステムのユーザ インターフェイスから確認することができます。

エンドポイントに押し出されるアドレスは設定されるものによって管理ツール > 設定 > 内部

LAN のシステムの高度なネットワーク設定の下のネットワーク設定の TMS で確認されます。
TMS サーバ IPv4 Address フィールドが設定されればおよび TMS サーバ 完全修飾 Hostnamefield が空なら、IP アドレスは使用されます、フィールドが両方ともデータ入力されれば、完全修飾ドメイン名 (FQDN) は好まれ、使用されます。

The image shows two sections of a network configuration interface. The first section is titled "Advanced Network Settings for Systems on Internal LAN" and contains three input fields: "TMS Server IPv4 Address:" with a placeholder "x.x.x.x", "TMS Server IPv6 Address:" which is empty, and "TMS Server Fully Qualified Hostname:" with the value "tms.example.com". The second section is titled "Advanced Network Settings for Systems on Public Internet/Behind Firewall" and contains one input field: "TMS Server Address (Fully Qualified Hostname or IPv4 Address):" with the value "tms.example.com".

電話帳 URL をチェックするとき、<TMSaddress> が FQDN または IP アドレスである場合注意することは重要です。それが FQDN である場合、エンドポイントはまた設定される有効な Domain Name Server (DNS) がなければなりません。DNS がエンドポイントで設定されない場合、電話帳を取得するために FQDN を解決ことはできません。DNS を確認するためにステップについてはチェック エンドポイント DNS コンフィギュレーションセクションを参照して下さい。

注 IP アドレスが正しいことを確かめて下さい。時々顧客は 1 サーバから別のものに最近 TMS を移動してしまいました、彼らに別のラボ TMS があります、または不正な TMS はあるかもしれません。

Webインターフェイスとアドレスを確認して下さい

エンドポイントの Webインターフェイスの中では、**Configuration > System 設定 > 電話帳サーバ** にナビゲートして下さい。電話帳設定が正しいことを確認して下さい。何よりも大事なことは、URL はこの形式を一致する必要があります: http://<TMSaddress>/tms/public/external/phonebook/phonebookservice.asmx。

セキュア シェル (SSH) とアドレスを確認して下さい

ここに SSH とアドレスをどのように確認するかです:

エンドポイント DNS 設定をチェックして下さい

SSH と DNS 設定をチェックして下さい

```
xConfiguration //DNS
*c xConfiguration Network 1 DNS Server 1 Address: ""
*c xConfiguration Network 1 DNS Server 2 Address: ""
*c xConfiguration Network 1 DNS Server 3 Address: ""
*c xConfiguration Network 1 DNS Domain Name: ""
** end

OK
```

Webインターフェイスと DNS 設定をチェックして下さい

エンドポイントの Webインターフェイスの中では、**Configuration > System 設定 > ネットワーク** にナビゲートして下さい。

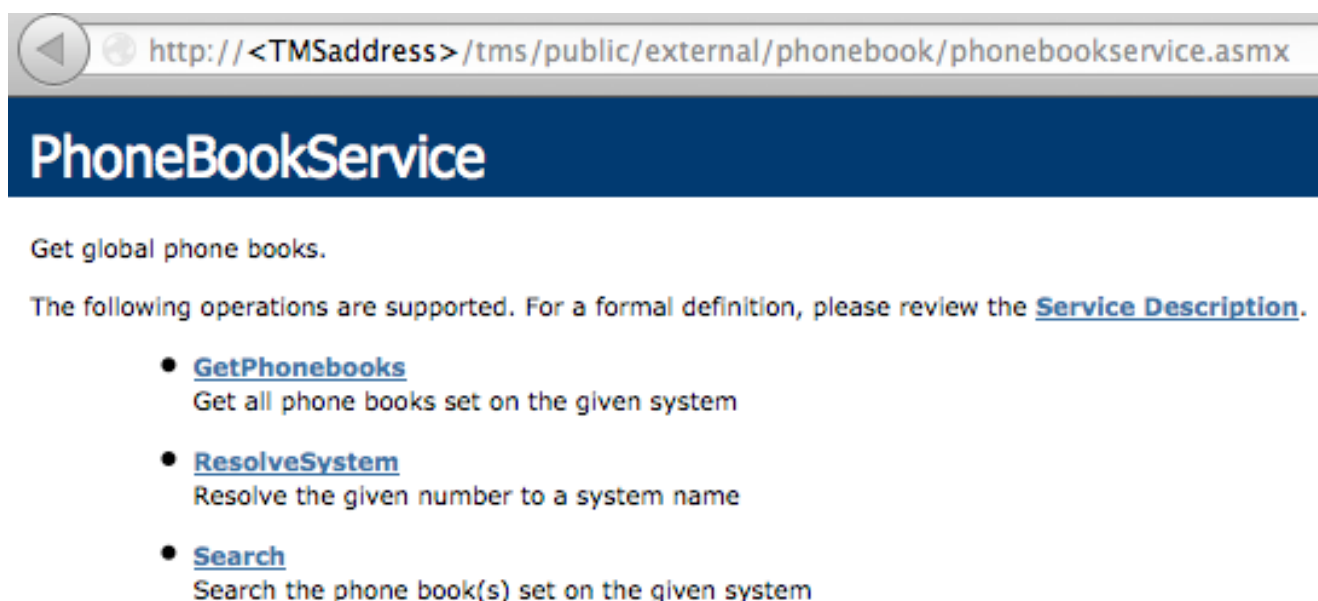
DNS		
Domain Name	<input type="text" value="example.com"/>	<input type="button" value="Save"/>
Server 1 Address	<input type="text" value="<DNS Server IP Address>"/>	<input type="button" value="Save"/>
Server 2 Address	<input type="text"/>	<input type="button" value="Save"/>
Server 3 Address	<input type="text"/>	<input type="button" value="Save"/>

ヒント：TMS FQDN を使用するために電話帳サーバアドレスが設定される場合可能性のある DNS 問題の除外を助けるべき TMS サーバの IP アドレスであるためにこれを修正できません。

電話帳サービスが到達可能だったかどうか確認して下さい

ユーザ PC から、これらのステップを完了して下さい：

1. エンドポイントの中では、**Configuration > System 設定 > 電話帳サーバ** にナビゲートし、エンドポイントで設定される TMS 電話帳 URL をコピーして下さい。
2. ブラウザウィンドウに URL を貼り付けて下さい。



The screenshot shows a web browser window with the address bar containing the URL: `http://<TMSaddress>/tms/public/external/phonebook/phonebookservice.asmx`. Below the address bar is a blue header with the text "PhoneBookService". The main content area contains the following text:

Get global phone books.

The following operations are supported. For a formal definition, please review the [Service Description](#).

- [GetPhonebooks](#)
Get all phone books set on the given system
- [ResolveSystem](#)
Resolve the given number to a system name
- [Search](#)
Search the phone book(s) set on the given system

イメージで示されているページを見る場合電話帳サービスが到達可能であることを意味します。このページを見ない場合、テストするコンピュータにアドレスにアクセスするネットワーク制限がないことを確認して下さい。

不正の見る場合、この資料で更に説明されている IIS においての問題があるかもしれません。

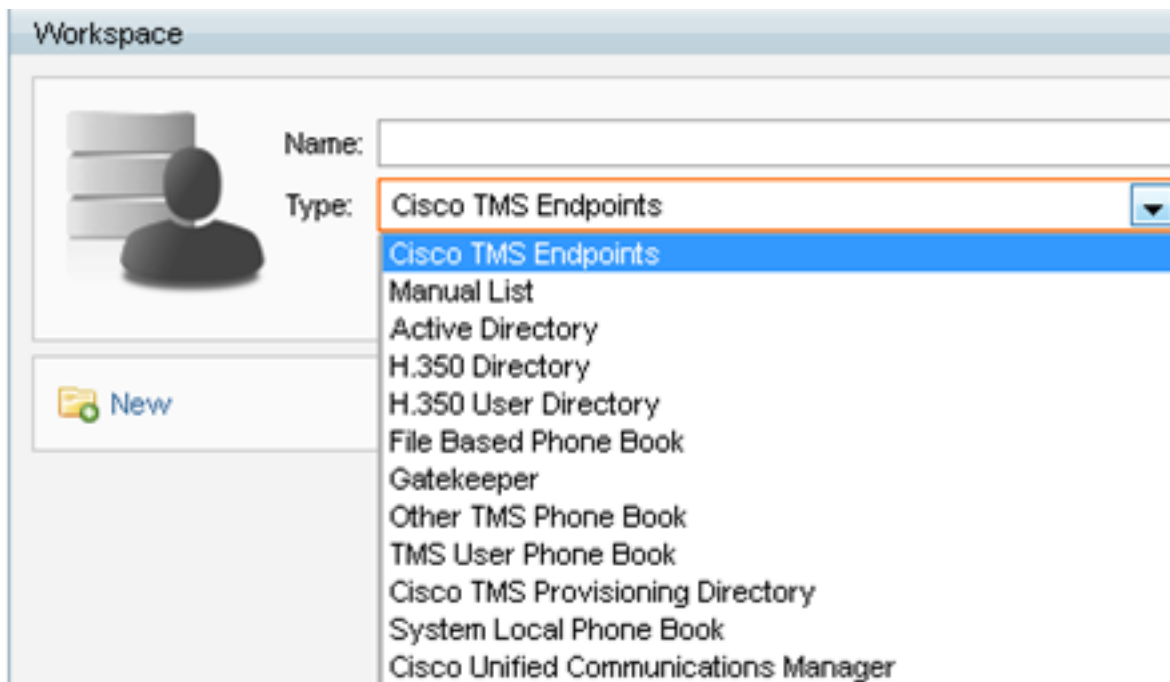
エンドポイントのルートから、入力して下さい: `http:// <TMS IP アドレス>/tms/public/external/phonebook/phonebookservice.asmx` をコールして下さい

TMS 電話帳および電話帳 ソース

すべての TMS 電話帳は電話帳ソースの構築されます。

電話帳に > 電話帳ソースを管理するためにどうにかして電話帳ソースを行って下さい。

現在 TMS 電話帳ソースはから成っています:



- Cisco TMS エンドポイント
- 手動リスト
- Active Directory
- H.350 ディレクトリおよび H.350 ユーザ ディレクトリ
- ファイル ベース 電話帳
- ゲートキーパー
- 他の TMS 電話帳
- Cisco TMS プロビジョニング ディレクトリ
- システム 地域電話本
- Cisco は Cisco Unified CM を TMS 管理しました

電話帳 ソースが作成されたら、電話帳にそれを接続します。ためにソースを接続する電話帳は電話帳 デバイスで設定 されるです。複数の電話帳ソースに複数の電話帳を接続できます

連絡先および電話帳がシステムで設定されることを確認して下さい

連絡先を確認して下さい

電話帳 ソースをチェックし、連絡先および連絡先メソッドがあることを確認して下さい。

The screenshot shows a web interface for 'All Systems' (Cisco TMS Endpoints). It includes a search bar, a 'Number of Contacts' field set to 15, and a 'Search' button. Below is a table of contacts:

Type	Address
404040	
H323	404040@placebo.lab
H323	404040

電話帳が電話帳 ソースに接続される確認し、同じ連絡先および連絡先メソッドがあることを確認して下さい。ためにソースを接続する電話帳は電話帳 デバイスで設定 されるです。

注 読み込まれるものが電話帳でエンドポイントおよび Jabber は、ない電話帳 ソース見ます。2 間の違いのためにアラートであって下さい。

システムで設定される 電話帳

電話帳をシステムで設定 されるために確かめて下さい。電話帳に > 管理します電話帳を > 選択し、電話帳をシステムで『Set』を選択 します行って下さい。

システムのリストは指定システムの下で右で現われます。

The screenshot shows a dialog box titled 'Set Phone Book On Systems'. It has two panes: 'Phone Book: All Systems' on the left and 'Selected Systems' on the right. The left pane shows a tree view with folders like 'Company Name', 'Call Control', 'Conferencing', 'Discovered Systems', 'Endpoints', 'OuthouseC4D', and 'Cisco'. The right pane shows a list of selected systems: 'OuthouseC4D' and 'cube.r20'. There are 'OK' and 'Cancel' buttons at the bottom.

Jabber および電話帳

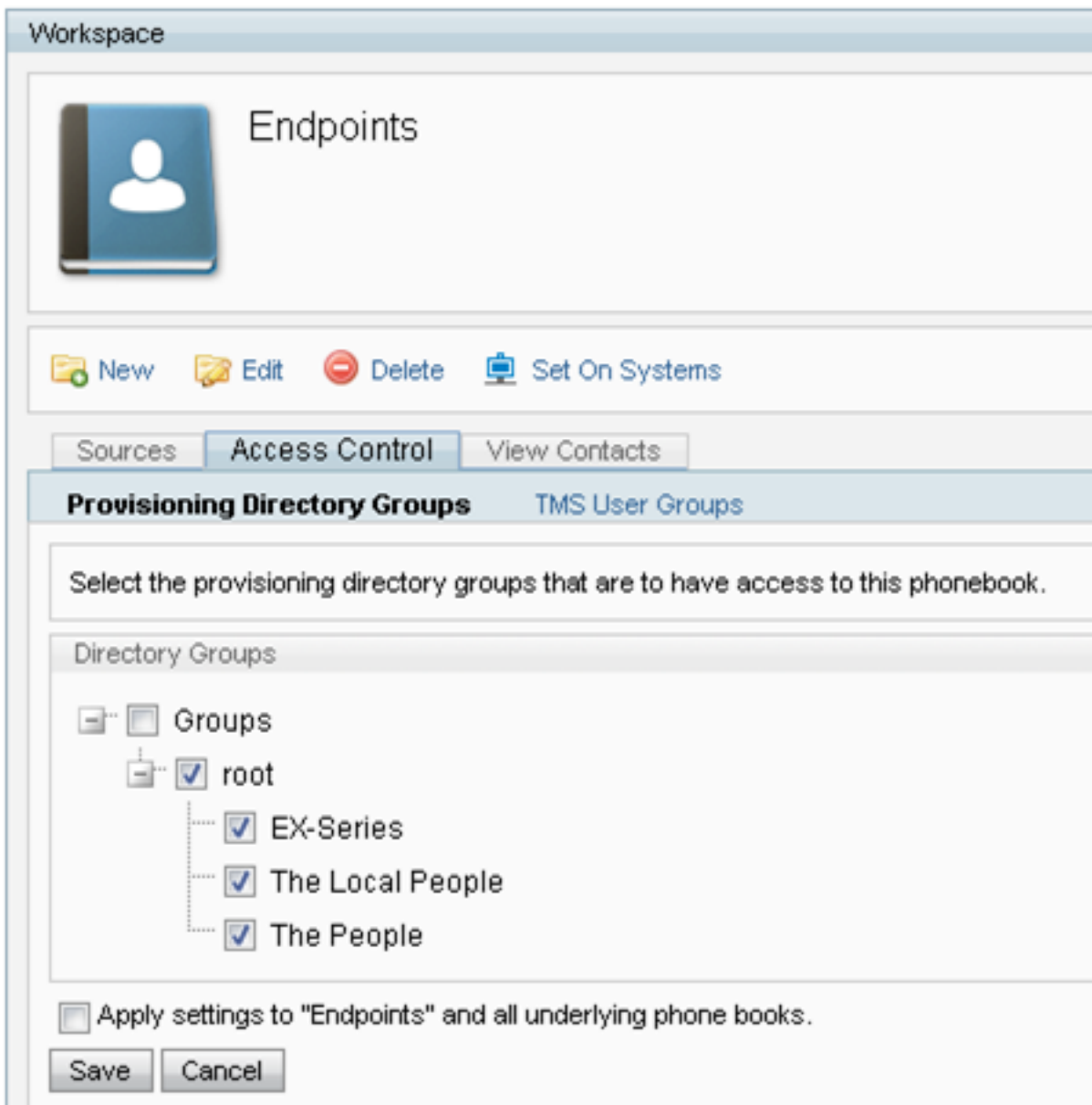
注 Jabber は電話帳を受け取るために認証する必要があります。それが登録するゾーンは認証されるようにチェック 資格情報または使用例である必要があります。

Jabber ユーザはビデオ コミュニケーション コミュニケーション・サーバ (VC) Control および
ない TMS によって電話帳を受け取ります。

アクセス制御

Jabber は電話帳にそれを検索するためにアクセスコントロールを与える必要があります。

トップレベルがチェックされても、それを拡張し、中段がチェックされることを確認して下さい。
。新規 ユーザだけ電話帳を受け取らない場合、それは可能性のあるですアクセスコントロール
タブの中でチェックされない新しいグループの一部です。



提供設定

1. TMS システム > プロビジョニング > Users では、ビデオ アドレス パターンが設定されることを確認して下さい。

User Settings

Settings configured at the group level are inherited by all users and subgroups. Configure settings at the user level to apply them to one user only.

(Click for help on configuring each individual field.)

Name	Pattern	Origin
<input checked="" type="checkbox"/> Video Address Pattern	<input type="text" value="{username}@example.com"/>	root
<input type="checkbox"/> Caller ID Pattern	<input type="text"/>	root
<input checked="" type="checkbox"/> Device Address Pattern	<input type="text" value="{username}@example.com"/>	root
<input type="checkbox"/> Image URL Pattern	<input type="text"/>	root

2. Jabber ユーザに割り当てられる電話帳 サーバ URI 設定があるようにコンフィギュレーションテンプレートを確認して下さい。

Phone Book Server URI

重複した2つのエントリ

接続されたソースが同じ Phone Book Entry が含まれている場合これにより重複した2つのエントリはエンドポイントでまたは TelePresence クライアントのための Cisco Jabber ビデオによって現われます場合があるので単一 電話帳に複数の電話帳を接続する場合用心深くであって下さい。

電話帳 ルーティング

いくつかのエンドポイントが他のエンドポイントで見られるいくつかの Phone Book Entry を得なかったらこの設定を理解しておいて下さい。

管理ツール > 設定 > 全般設定では、ルート Phone Book Entry と呼ばれる設定があります。YES はデフォルト設定です、つまりそれらがダイヤルすることができることをエンドポイント ディスプレイ アドレスだけ意味します。たとえば、H.323 だけエンドポイントで、ISDN 番号および Session Initiation Protocol (SIP) アドレスは表示する。 エンドポイントがダイヤル機能に関係なく電話帳のすべてのアドレスおよび数を表示することを意味しません。

401 不正- IIS を解決して下さい

もっとも一般的な電話帳問題の1つは IIS でミスコンフィギュレーションによって引き起こされています。匿名認証はエンドポイントのための IIS のパブリック フォルダのために電話帳を取得するために有効にする必要があります。これが有効にならない場合、エンドポイントはによって提供することができない認証のために挑戦されます。

エンドポイントがエンドポイントに認証、SSH および xcommand 電話帳検索電話帳型が付いている電話帳のクエリのために挑戦されたかどうか確認するため: 団体。エンドポイントが認証のために挑戦される場合、このイメージに見られるように「<Authentication fail>」が (HTTP code=401) 表示されます。

```
xcommand Phonebook Search PhonebookType: Corporate
```

```
OK
*r PhonebookSearchResult (status=Error):
  Reason: TMShttp failure: '<Authentication fail>' (HTTP code=401)
** end
```

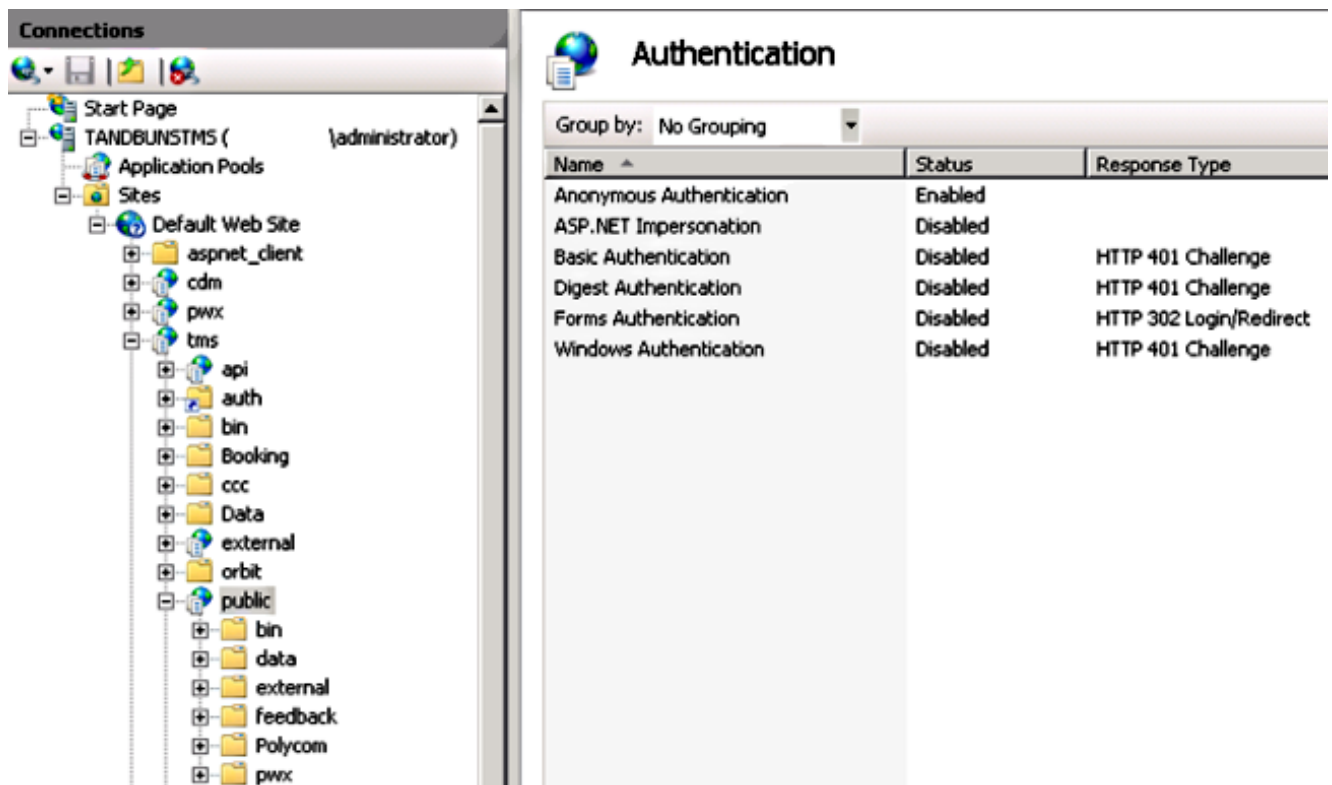
正常な電話帳クエリ

```
xcommand Phonebook Search PhonebookType: Corporate
```

```
OK
*r ResultSet ResultInfo Offset: 0
*r ResultSet ResultInfo Limit: 50
*r ResultSet ResultInfo TotalRows: 2
*r ResultSet Contact 1 Name: "John Doe (SIP)"
*r ResultSet Contact 1 ContactId: "e_3"
*r ResultSet Contact 1 ContactMethod 1 ContactMethodId: "8"
*r ResultSet Contact 1 ContactMethod 1 Number: "SIP:jdoe@example.com"
*r ResultSet Contact 1 ContactMethod 1 Protocol: SIP
*r ResultSet Contact 2 Name: "Peter Rabbit (SIP)"
*r ResultSet Contact 2 ContactId: "e_4"
*r ResultSet Contact 2 ContactMethod 1 ContactMethodId: "9"
*r ResultSet Contact 2 ContactMethod 1 Number: "SIP:prabbit@example.com"
*r ResultSet Contact 2 ContactMethod 1 Protocol: SIP
** end
```

IIS 設定をチェックして下さい

1. TMS サーバのリモート デスクトッププロトコル (RDP) セッションを開いて下さい。
2. [IIS マネージャ](#)を開いて下さい。
3. デフォルト の Webサイトを拡張して下さい。
4. TMS を拡張して下さい。
5. パブリックを選択して下さい。
6. 選択して下さい



7. まだあっていない場合匿名認証が有効になる確認し、有効にして下さいことを。

ネットワーク キャプチャを使用して下さい

Wireshark の電話帳データを分析して下さい

電話帳検索は TMS が応答という結果ににん答し、検索を終る含まれている TMS がの電話帳サービスに検索要求からすべてがはたらく場合開始します。

エンドポイントが tcpdump をサポートする場合 TMS サーバまたはエンドポイントのトレースを実行できます。トレースが Web インターフェイスによってまたはユーザインターフェイスから電話帳を実行し、アクセスするようにして下さい。検索要求が TMS サーバで入るのを見るはずでず。

```
HTTP/1.1 1170 POST /tms/public/external/phonebook/phonebookservice.aspx HTTP/1.1
```

TMS サーバからの応答は 200 OK であるはずでず。受け取る別のメッセージに基づいてさもなければ解決できます。

```
HTTP/1.1 2441 HTTP/1.1 200 OK
```